

あなたの心は女性？それとも男性？

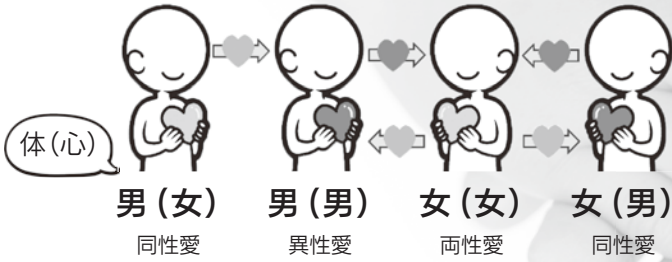
～ 性的指向（好きになる性）・性自認（心の性）～

教育委員会事務局人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

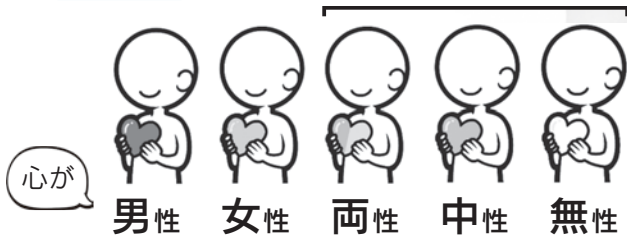
恋愛対象が異性だとは限りません

心にも性別があります

◇ 性的指向



◇ 性自認



※性的指向や性自認にはさまざまな形があり、とても複雑です。このイラストの体と心の相違は一例としてあげており、すべてを表しているわけではありません。そのため、同性愛のすべての人が体と心の性が違うわけではありません。

人の恋愛がどの対象に向かうかを「性的指向」といいます。女性の恋人は「彼女」、男性の恋人は「彼氏」と想定されがちですが、恋愛の形はこれだけではありません。異性を好きになる人（異性愛）もいれば、同性を好きになる人（同性愛）、両性を好きになる人（両性愛・バイセクシュアル）もいます。なかには、男性にも女性にも恋愛感情を抱かない人もいます。性はとても多様なのです。

人は身体構造上の性として男性と女性があります。しかし、性自認（自分自身の性をどのように認識しているか）は、誰もが体と同じとはいえません。約6パーセントの人が「男性でも女性でもある（両性）」、「男性と女性の間だ（中性）」、「男性でも女性でもない（無性）」などの性自認をもっているといわれています。体と心の性が一致しない「トランスジェンダー」であるために違和感を感じることや、体の性を心の性に近づける

るために手術を通じて性の適合を望むことさえあります。こうした人たちが小さいころから偏見の目を向けられ、差別を受けたり、職場などで不適切な扱いを受けたりすることがあるのです。

LGBTとSOGI

最近、マスメディアなどで「LGBT」という言葉をよく聞くようになりました。これは「性的少数者（セクシャルマイノリティ）の総称」として用いられています。レズビアン（L）、ゲイ（G）、バイセクシュアル（B）は性的指向についてのマイノリティ。トランスジェンダー（T）は性自認についてのマイノリティです。しかしこれでは「ゲイの人の心は男性？それとも女性？」と性的指向と性自認をごちゃ混ぜにしてとらえてしまう人もいます。そこで、性的マイノリティに限らず、すべての人にかかわる言葉として自分ごととして考えてもらうため、SOGI

【Sexual Orientation（性的指向）と Gender Identity（性自認）】という言葉も使われ

るようになりました。

性的少数者に理解を

日本には約8パーセントの性的少数者がいるといわれています。しかし、まだまだ「LGBT」への配慮が少なく、「男らしさ」や「女らしさ」を求める発言があったり、「みんな異性愛者である」という前提になっていたたりしているようです。そのため「性的少数者」を笑ったり、けなしたりするような差別が多発しています。

こういったことは大人だけにある問題ではなく、子どもたちにも影響を及ぼしています。テレビで性的少数者をみて笑う大人の横で、子どもたちは「それがあたりまえのことだ」と思い、自分の周りの子どもたちをいじめ始める。いじめられた子どもは、誰にも相談できずに不登校になったり自殺を考えたりしています。

みなさんの周りには、さまざまな個性をもった人が生活しています。個性を理解し、誰もが安心して生活できる社会をつくっていきましょう。

ふるさと 再発見

広川町郷土史研究会

下広川村消防組、民党応援に出動

～ 明治 25 年の大選挙干渉事件 ～

下広川村消防組の記録が残っていますので、前号に続きご紹介します。

大選挙干渉事件に 下広川村消防組も出動

また、納税額によって選挙権が付与される制限選挙の時代のことです。現広川町域は上妻郡・三潴郡・下妻郡を選挙区とする五区に属していました。

明治 25 年（1892 年）2 月、第二回総選挙が行われます。しかし、帝国議会では自由民権派（以下民党）が優位だったため、政府が提出する予算案などはすんなりと通らない状況でした。そんな中、松方正義総理大臣による解散総選挙が行われ、なんとこれも民党の優位をくつがえすことが、政府の至上命令でした。そこで内務大臣の品川弥二郎が総指揮をとり、民党候補の当選を妨害するべく、全国の官憲（役人、警察など）を総動員してのあからさまな選挙干渉に乗り出します。福岡県では、県知事安場保和（当時の県知事は選挙で選ばれない）が、干渉を指揮します。五区の立候補者は、中村彦

次（岡山村前津出身、政府に組する吏党）と十時一郎（旧柳川藩士、民党）でした。ちなみに六区（山門郡・三池郡）は権藤貫一（吏党）と岡田孤鹿（民党）で、両区とも激しい選挙運動が展開されました。

そんな中、西牟田事件が起きます。吏党は吉田屋という奥号の宿屋（福岡県警察史）では宿屋とあるも、小料理屋か）に拠点を構え、棍棒や刀剣を携えて村内をうろつき、民党候補を威圧し妨害、あるいは吏党候補への投票誘導を行っていました。

これに強く反発し、民党候補を応援するために、下広川村・二川村などから出動した消防組との衝突が起きます。明治 25 年

2 月 14 日の 19 時ごろから 15 日（投票日）未明にかけて、吉田屋を中心に 40 人余りの荘士連と 700 人を超す消防組が発砲・投石や家屋破壊、抜刀

防衛を繰り返しました。県議会の記録では民党側に即死が 1 人、吉田屋の家屋破壊が記されています。今から 50 年ぐらい前までは事件の証言者も生存しており、聞く限りでは 5 人ぐらい死者が出たのとこのことです。

さて、前に述べた壯士連とはいったいどんな人たちかというところ、柳川方面に武器を携えて出動した福岡の玄洋社 200 人余りの一部（柳川から来たという証言がある）や渡辺五郎・坂本格・船曳衛らが創立した筑後壮年義会の面々が、吏党の応援に駆けつけたものと考えられます。

この総選挙をめぐるのは全国で死者 25 人・負傷者はなんと 388 人にも及びました。



第 2 回総選挙で 5 区から吏党候補として出馬し、当選した中村彦次

広川町古墳資料館だより

一條区にある石人山古墳は、今は緑に覆われた山のような景観ですが、もともと古墳の周りには堤と濠がめぐり、墳丘上には多数の埴輪が立ち並んでいたようです。写真は 4 世紀中ごろの築造となる長野県古墳（全長 100 m）を前方部から見たものになります。復元された有名な

前方後円墳です。墳丘には葺石と斜面に貼石があり、要塞のような外観の堂々たる地域の首長墳です。

このように、視覚的な効果を意識し、周囲から見られる古墳は、千数百年前の政治的なモノユメントでもありました。

